

第6学年 体育科学習指導案

学習者 6年2組 21名
指導者 矢野 裕子 教諭
豊永 桃子 講師
場 所 第1音楽室

1 単元名 見つめよう、自分！めざせ、健康な生活！！「病気の予防」 【保健】

2 単元について

病気の予防についての学習は、病気の発生要因や予防方法及び喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響について理解したり、身近な生活から病気の予防に関する課題を見付け、よりよい解決に向けて思考し、判断して表現したりすることをねらいとしている。主な学習内容は、「病気の起こり方」「病原体が主な要因となって起こる病気の予防」「生活行動が主な要因となって起こる病気の予防」「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」「地域の様々な保健活動の取組」である。児童が自分の健康に目を向け、正しく病気を予防し、健康管理することができるようになるために重要な学習であると考ええる。

本単元の学習では、病気の原因と予防の仕方を科学的に理解し知識として身に付けるとともに、自らの生活習慣を見直し、健康な生活を送ろうとする態度を養う。また、喫煙、飲酒、薬物乱用は、それらの害を正しく理解し、自分の健康は自分で守り実践していける力を身に付けさせたい。さらに、健康な生活を送るための方法として、地域では、保健に関わる様々な活動が行われていることを知り、生涯にわたって健康に生活するための基礎知識を習得するとともに自分たちがこれからの生活でできることについて考え、行動できる力を身に付けさせたい。

3 児童の実態

昨年度末の本学年児童の体育授業における総括的授業評価結果は、全校と比較して『楽しむ』『わかる』『できる』『まもる』の4観点ともに評価得点が比較的高い。全体的に体育が大好きで意欲的に取り組もうとする児童が多い。

(1) 知識

保健領域の学習においては、6月に行った事前調査では、『自分は健康だと思うか』という問いに対して、21人中19人が「とてもそう思う」「そう思う」と肯定的に答えている。日常生活において『病気にならないために気を付けていること』は、現在の新型コロナウイルス感染症対策の取組から、「手洗い・うがい・マスク」が挙げられ、対処的な予防への意識が見られる。しかし、食事や睡眠、運動の仕方といった生活習慣に関することを記述している児童は少なく、自分の生活を見つめ直す意識は十分とは言えない。

『自分の知っている病気』では、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが多く挙げられ、次いでがんや風邪などが挙げられている。感染状況について連日、報道を見聞きする新型コロナウイルス感染症や話題に挙げられる病気（インフルエンザ、がん、風邪）についての知識はある程度を得ているが、それぞれの病気の原因や予防法についての知識は十分ではないと考えられる。

(2) 思考力、判断力、表現力等

全体的に素直で真面目な集団であり、男女間でも協力して仲良く取り組むことができる。また、児童は課題に、前向きに一生懸命取り組もうとする。しかし、自分の思いや考えを対話の中で言える児童は多いが、全体場で話し合いを深めていくところまでには至っていない。

(3) 学びに向かう力、人間性等

児童の多くは、前述のアンケートからも分かるように、様々な情報から「病気の原因と予防」については漠然と知っている。特に、今、世界的な問題となっている新型コロナウイルス感染症については、テレビ・新聞等の報道もあり病気への関心は高い。また、低学年時の学級活動等で学習した「風邪や虫歯等の身近な病気の予防の仕方」についてもある程度は理解し、実践してきている。しかし、正しく認識し行動できている児童は少ない。

そこで、今回の学習を通して、感染症を含む病気の予防に対する正しい知識を学び、これまでの生活や行動を振り返り、自分たちの生活に何をどのように取り入れていくのか考え、行動できる力を身に付けさせたい。

4 教師の指導観及び研究テーマとの関わり

研究主題	「たのしい できそう いっしょにもっと！運動好きな十津っ子」 ～保健の見方・考え方を働かせる4つのデザインの工夫～
研究仮説1	「保健領域では、子どもが自身の生活習慣や生活環境等から課題を見つけ、その解決に向けた学習活動を展開することができれば、自分の健康に目を向け、楽しく明るい生活を営もうとする十津っ子に伸びていくであろう。」
手立て1 単元デザイン	単元前半では、病原体が原因で起こる病気の予防に着目し、今世界中で流行している感染症（新型コロナウイルス等）の予防策を考えていくものとする。病原体を体の中に入れない事や病原体に対する体の抵抗力を高める事、そして、望ましい生活習慣を身に付ける事が必須であることを理解できるようにするとともに、自分自身の健康に目を向け、正しく病気を予防し健康管理する力を身に付けるようにする。 単元後半では、生活習慣が原因で起こる病気や、地域の保健活動等について学ぶ単元構成とし、健康で丈夫な体を作り、望ましい生活習慣を行う力を身に付けるようにする。 本単元において児童が自分の健康課題を見つけ、その解決に向けて自らすすんで学び、考える力を育成していくために、児童がこれから学ぶ内容を「自分ごと」として捉えられるように、これまでの経験をもとに考えたり、自分の生活を振り返って自身の健康課題に気付いたりしていくことができるようにする。 そこで、児童が他者との対話を通して、自分の考えを広げたり、深めたりする活動を意図的に取り入れ、主体的に活動できるようにする。
手立て2 環境デザイン	学習内容に広がりを持たせ、より深く理解できるよう場面に応じてタブレットを活用し、病気を予防するための課題や、地域にある健康や命を守るための活動を調べたり、それらの情報の共有を図ることで、病気の予防についての知識を習得したりする。また、病気を予防する方法を考え、伝えることができるようにする。 ワークシートを活用し、自分の考えをまとめ、他者と対話をするための手立てとする。
手立て3 かかわりデザイン	児童一人一人が思考し、問題解決学習を通して、健康安全に過ごし自分の生活を見つめ、学びを深めていく手だてとして対話を取り入れる。具体的には、まず、一人一人がこれまでの自分の知識・体験をもとに学習課題との心内対話をする。次に他者とのグループ対話を通して、自分が一人で課題に向き合った時に捉えることのできなかった考えにふれる。さらに学級全体対話へと場面展開しながら、様々な他者の考えに触れることで、気付きを深めていく。
手立て4 フィードバック デザイン	本単元の学習を通して、自分にとって新たな知識として何を学んだのか、学びを今後の生活にどのように生かしていくことができるか等について自分の考えをふりかえり、健康への意識を高めることができるようにする。

5 単元目標

- (1) 病気の予防について，課題解決に役立つ基礎的な事項を理解することができるようにする。【知識】
- (2) 病気を予防するために，課題を見付け，その解決に向けて思考し判断するとともに，それらを表現することができるようにする。【思考力・判断力・表現力等】
- (3) 病気の予防について，健康や安全の大切さに気付き，自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組むことができるようにする。【学びに向かう力，人間性等】

6 単元及び学習活動に即した評価規準

知識	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 病気の起こり方について理解したことを言ったり，書いたりしている。 ② 病原体がもとになっておこる病気の予防について理解したことを言ったり，書いたりしている。 ③ 生活行動が主な要因となって起こる病気の予防について理解したことを言ったり，書いたりしている。 ④ 喫煙飲酒が体に及ぼす悪影響について理解したことを言ったり，書いたりしている。 ⑤ 飲酒が体に及ぼす悪影響について理解したことを言ったり，書いたりしている。 ⑥ 薬物乱用が体に及ぼす悪影響について理解したことを言ったり，書いたりしている。 ⑦ 地域の様々な保健活動の取り組みについて理解したことを言ったり，書いたりしている。	① 病気の予防について調べたことをもとに，課題解決の方法を見つけたり，自分の生活と比べ関係を見つけたりした自分の考えを友達に伝えている。 ② 健康を守るための地域の保健活動について教科書や資料等を使って調べたことを説明している。	① 病気の予防について，自分の生活を振り返ったり，学んだことをこれからの生活に生かそうとしたりしている。 ② 課題解決に向けた調べ学習や話し合いや発表などの学習活動に，ねばり強く取り組もうとしている。

7 指導と評価の計画(領域の取り上げ方は, 年間カリキュラムを参照)

時間	1	2	3(本時)	4	5	6	7	8	9
【単元を通しての課題】病気の予防について理解し, 身近な生活において健康で安全な生活を営むためにどうしたらよいのかを考える。									
小単元	●病気の起こり方	●病原体と病気	●新型コロナウイルス感染症の予防	●生活の仕方(生活習慣病)	●生活の仕方(虫歯の予防)	●喫煙の害	●飲酒の害	●薬物乱用	●地域の保健活動
○学習内容	○病気は, 病原体, 体の抵抗力, 生活行動, 環境がかかわりあって起こることを知る。 ・今までに自分や家族がかかった病気や, 知っている病気を発表する。 ・病気は, 病原体, 体の抵抗力, 生活行動, 環境などがかわりあって起こることを知る。	○病原体が主な要因となっておこる病気には, インフルエンザや結核, 麻疹, 風疹などがあることを知る。 ○その予防には, 病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であることを知る。 ・病原体がもとになっておこる病気の予防の仕方, 感染の道筋にはどのようなものがあるか考える。 ・病気の起こり方について理解したことを言ったり書いたりする。 ・病原体がもとになっておこる病気はどのように予防できるか考える。	○この病気の予防は, ウイルスが体に入るのを防ぐことやウイルスに対する体の抵抗力を高めることが必要であることを知る。 ・この病気の予防の仕方, 感染の道筋にはどのようなものがあるか考える。 ・この病気の起こり方について理解したことをワークシートに記入したり, 発言したりする。 ・この病気の起こり方について理解したことを言ったり書いたりする。	○生活行動が主な要因となっておこる病気には, 心臓や脳の血管が硬くなったり詰まったりする病気があることを知る。 ○その予防には, 日常的な運動習慣と望ましい生活習慣を身に付ける必要があることを知る。 ・生活習慣病の原因について調べる。 ・自分の生活を振り返りその課題について説明する。 ・生活習慣病を予防するためにはどのような生活をすればよいかを考えて, ワークシートに記入したり, 発言したりする。	○生活行動が主な要因となっておこる病気には, 虫歯や歯茎の病気があることを知る。 ・虫歯はどのように進行するのか考え, 自分の生活を振り返りながら予防の仕方を確認していく。 ・歯周病について調べる。 ・虫歯, 歯周病の予防の仕方をまとめる。 ・自分の生活を振り返りその課題について説明する。 ・虫歯, 歯周病を予防するためにはどのような生活をすればよいかを考えて, ワークシートに記入したり, 発言したりする。	○喫煙は, 健康を損なう原因となることを知る。 ・たばこの害について調べる。 ・受動喫煙の害について調べる。 ・若い時期からの喫煙の危険性について調べる。 ・喫煙の害が体に及ぼす影響を考え, 喫煙を進められたときにどうするか話し合う。	○飲酒は, 健康を損なう原因となることを知る。 ・酒の害について調べる。 ・若い時期からの飲酒の危険性について調べる。 ・飲酒が体に及ぼす影響を考え, 飲酒を進められた時にどうするか話し合う。	○薬物乱用は, 健康を損なう原因となることを知る。 ・薬物の害について調べる。 ・薬物乱用による社会的問題について調べる。 ・薬物を進められた時にどうするか話し合う。	○健康を保つために保健所や保健センターなどで保健にかかわる様々な活動が行われていることを知る。 ・地域の保健活動について調べたり, まとめたりし, それを全体に説明する。 ・学んだことと自身の生活とを関連付けて考え, これからの自分の健康を保つためにどうしていくか考える。
☆見方・考え方を働かせている児童の姿	☆病気の起こり方について考え, ワークシートに記入したり, 発言したりする姿。	☆「病原体をなくす」「体の抵抗力を高める」「病原体の感染経路を断ち切る」の3つの観点から, 病気の予防を説明している姿。	☆世界的に感染拡大している新型コロナウイルスについてその特徴を理解し, 感染防止のために自分たちがとるべき具体的な行動について生活を振り返りながら考えている姿。	☆生活習慣病の原因となる生活習慣について, 自分自身の生活を振り返り, 具体的な行動をワークシートに記入したり, 発言したりする姿。	☆虫歯の原因となる生活習慣について, 自分自身の生活を振り返り, 具体的な予防法をワークシートに記入したり, 発言したりする姿。	☆喫煙しない方が良い理由として, 自分や周りの人への影響を理解し, ワークシートに記入したり, 発言したりする姿。	☆健康への影響を考え, 酒とのかかわり方をワークシートに記入する姿。	☆心身に与える害や薬物乱用が引き起こす問題, 依存性, 法律での禁止などを踏まえてワークシートに記入する姿。	☆タブレットを活用して, 保健所や保健センターの予防活動を調べたり, グループで話し合ったりする姿。
★評価規準と評価方法	★【知】① 発言・ワークシート	★【知】② ★【思・判・表】① 発言・ワークシート	★【思・判・表】① ★【主】① 発言・観察 ・ワークシート	★【思・判・表】① ★【主】② 発言・観察 ・ワークシート	★【知】③ ★【主】① 発言・観察 ・ワークシート	★【知】④ ★【思・判・表】① 発言・観察 ・ワークシート	★【知】⑤ ★【思・判・表】① 発言・観察 ・ワークシート	★【知】⑥ ★【思・判・表】① 発言・観察 ・ワークシート	★【知】⑦ ★【思・判・表】② 発言・観察 ・ワークシート

☆保健の見方・考え方

「疾病や傷害を防止するとともに, 生活の質や生きがいを重視した健康に関する観点を踏まえ, 個人及び社会生活における課題や情報を, 健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え, 疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上, 健康を支える環境づくりと関連付けること」

8 本時の学習と指導（3／9時）

(1) ねらい

- ・ 病原体がもとになって起こる病気の予防の仕方について、考えたり、考えを伝えたりすることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
- ・ 病気の予防について、自分の生活を振り返りこれからの生活に生かそうとしている。
【学びに向かう力、人間性等】

(2) 準備物

電子黒板，ワークシート，タブレットPC

(3) 展開

	学習内容・活動	○指導上の留意点 ◆評価（方法）
導入	1 前時の復習をする。 病原体が原因で起こる病気の予防の三原則を確認する。 2 6年2組知っている病気ランキングを見て考える。 第1位 新型コロナウイルス 第2位 インフルエンザ 第3位 がん 3 新型コロナウイルス感染症について知る。	○病気を予防するには、病原体のもとをなくす，感染する道筋を断ち切る，抵抗力を高めるということを確認する。 ○新型コロナウイルス感染症について知っていることを言わせる。 ○ウイルスの正体や症状，感染経路や現在の高知県感染状況等について知らせ，他の感染症と異なる特徴や感染力の恐ろしさを理解させる。
展開	4 学習のめあてを確認する。 新型コロナウイルス感染症は，どのように予防すればよいのだろう。 5 事例を提示から，予防方法を見付けて発表する。 6 問題点（誤った行動）を考え，新型コロナウイルス感染症に関する予防方法について話し合う。 【心内対話 → グループ対話 → 全体対話】	○「病原体のもとをなくす方法，感染する道筋を断ち切る方法，抵抗力を高める方法」といった3原則と対策行動をYチャート方式でまとめていく。 ○日常や学校生活を振り返らせながら自分のこととして考えさせる。 ◆病気の予防について調べたことをもとに，課題解決の方法を見つけたり，自分の生活と比べ関係を見つかりたりした自分の考えを友達に伝えている。（ワークシート・観察・発言） ○タブレットを使ってウェビング方式で考えを深めていくようにする。
まとめ	7 本時のふり返しをする 本時の学習を通して、新たに気が付いたことや大切にしたいことと併せて，学びを自身の今後の生活にどう生かしていくかワークシートに記入する。	○新たな気付きや今後，大切にしたいことについて具体的に書かせるようにする。 ◆病気の予防について，自分の生活を振り返ったり，学んだことをこれからの生活に生かそうとしたりしている。（ワークシート・観察・発言）

(4) 板書計画

見つけよう、自分！ 目標せ、健康な生活!!(病気の予防)

課題

6年2組

知っている病気ランキング

第1位 新型コロナウイルス

第2位 インフルエンザ

第3位 がん

高知県のコロナ感染者

累計感染者	〇人
死亡	〇人
退院	〇人

新型コロナウイルス感染症は、どのように予防すればよいのだろう。

- ① Aさんは、誕生日にスイッチのゲームを買ってもらったのでサッカークラブで練習を共にしている3人の友人を誘って、家で遊ぶことにした。
- ② さっそく買ってもらったばかりのスイッチで、みんなで仲良く遊んだ。
- ③ 友人たちは遊びに行く前に検温をし、マスクをしてAさんの家に行った。
- ④ Aさんの家に入る前に、3人の友人は、手を消毒した。
- ⑤ 暑かったのでエアコンをつけていたが、30分おきに部屋の換気をした。
- ⑥ お昼になったので、食事をすることにした。みんな石けんで手を洗い、消毒も済ませ各自が持参したお弁当を食べた。
- ⑦ 食事中はマスクを外し、熟食した。
- ⑧ 友だちと久しぶりに楽しい1日を過ごした。

今日の学び

今日は 〇人

※電子黒板データ

ウイルスはどんどん変わっていく！

日本で特に流行したのは、 **デルタ株**

変わる前の新型コロナウイルスより・・・

2倍の感染力がある！

ワクチン接種ができるようになってきたけど・・・

新型コロナウイルスに **かからない** わけではない！

かかっても、**重症になるのを防ぐもの**

感染予防を続けていくことが大切！